



色彩館に咲く

タイサンボク

Magnolia grandiflora

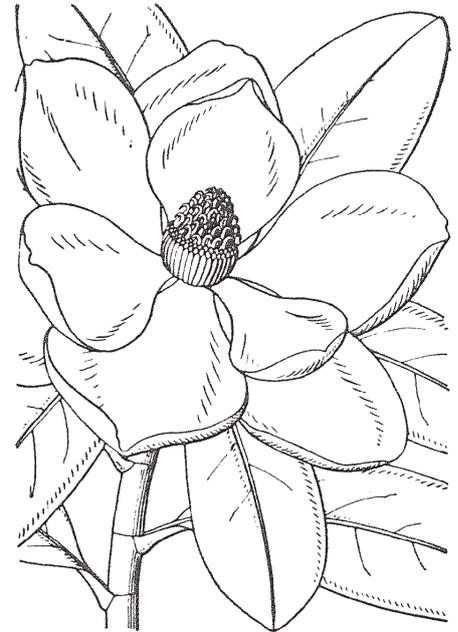
モクレン科モクレン属
原産地：北米中南部

香りのある大きな花

皆さんは色彩館のシンボルツリーといえれば何を思い浮かべますか？大温室に一番大きくそびえる2本のゴールドクレスト？いえいえ、じつはゴールドクレストの手前にあるタイサンボクなのです。

タイサンボクはモクレン科モクレン属の常緑高木で、学名は *Magnolia grandiflora* L.。属名の *Magnolia* (マグノリア) は 18 世紀フランスの植物学者である「Magnol 博士」の名にちなみ、種名 *grandiflora* (グランディフローラ) は「大きい花の」を意味しています。漢字で泰山木、大山木と書くことから中国産の木と思われがちですが、原産地は北アメリカ中南部で、アメリカ南部を象徴する花木としてミシシッピ州とルイジアナ州ではこの花を州の花にしています。

樹高は大きいもので高さ 20m にも達し、葉は長楕円形または卵形で長さ 12～20cm。深緑色の革質で上面に強い光沢があり、下面は褐色・鉄錆色で毛が密生しています。花は白色で径 15～20cm の芳香のある大きな花を咲かせます。花弁は 6 (まれに 9～12) 個あり、肉厚さじ形で丸みがあり、花形も丸みを持った杯形となります。また、果実は袋



果の集合果で、成熟すると袋果が開裂して、紅色の種子をつけます。色彩館では受粉がうまくされないためか種子を見たことがありません。

タイサンボクの由来は、樹形・花・葉などが大きく立派なことからそれを賞賛して、中国山東省中部にある名山の泰山(タイザン)に由来するとともに、花の形と大きさを大きな盃に見立てて、大盃木が次第に転訛したとも言われます。花ことばは、人生の展望が開けているさまを表す「前途洋洋」、大きく立派で美しいさまを表す「壮麗」など、その樹形の雄大さや、かぐわしい香りを放つ白い大きな花をあらわしています。樹形、葉形、花形などに変異の幅が大きく、「セント・メアリー」['Saint Mary'] ほか、たくさんの園芸品種が作出されています。日本には明治初め頃に入り、主に公園や街路樹などに利用され、花材としても利用されています。

色彩館では 5 月の中下旬頃から咲き始め 6 月中旬くらいまで花を見ることができます。花の寿命が 1～2 日ほどと短いですが、次々と花を咲かせ、さわやかな香りを漂わせます。初夏の香りの感じではいかがでしょうか。



この冬は本当に雪が少ない岩見沢でした。いつもなら雪のお布団でぬくぬくと冬を過ごすバラたちも今年は寒風にさらされっぱなし。特に樹木や建物の配置から風の通り道になる花壇に植えられているものはいっそう凍害の被害がひどいようです。冬囲いを外し一株一株丁寧に凍害枝を見極め剪定していきますが、品種によってはかなり厳しい結果のものもあります。「五十年に一度の小雪」とも言われていますが管理者としてはやはり「油断した!!!」というのが正直なところ。大変いい勉強になりました(しくしく)

とはいえ強く切り戻せばそれだけ強い枝が出てきます。7月には何事もなかったかのようにこのバラ園も花であふれることでしょう。

その広さ約4ha、道内最多約630品種が咲き誇る!!

いわみざわローズフェスタ 2017

IWAMIZAWA Rose Festa

6/24 SAT ▶ 7/9 SUN 9:00 ~ 19:00

ようこそ、誇り高き北国のバラ園へ。



いわみざわ公園バラ園
IWAMIZAWA PARK
ROSE GARDEN

詳しくは HP または Facebook ページをご覧ください

<http://www.iwamizawa-park.com>

<https://www.facebook.com/iwamizawa.rosegarden/>

ヨモギの話



ぷちり。

冬の渡り鳥が北へ帰り、ウグイスやヤマバトの声が聞こえてきました。畑や土手の周りでは、春の草花が葉を伸ばし始めています。

その草花の中で、昔から馴染みの深い植物の一つ

としてヨモギがあります。食べる、飲む、浸けるなど様々な形で使われ、日本のハーブの代表格といえるのではないのでしょうか。お灸のもぐさの材料としても有名です。

個人としても思い入れが深く、幼い頃に祖母と一緒にヨモギを摘んで草餅をこしらえた記憶があります。ヨモギ独特の風味、まぶされたきな粉、中身のあんこ。それらが口の中で合わさったあの味、まさしく春の味でした。花より団子ですね。

よし
なし
ごと

MIZ

ひとつき ひとバラ



文：田中伸枝
(いわみざわ公園バラ園)

第三十九回

ハイブリッドスピノシッシマローズ

アイシャ

Aïcha

作出国：デンマーク

作出者：Petersen

作出年：1966年

ハーディネスゾーン：Z5

一季咲き性

交配：Souvenir de Jacques Verschuren ×
Guldtop



春風に乗ったスコッツローズのさわやかな香りを感じると、「今年もついに開花が始まったな〜!」と実感します。アイシャは、ハイブリッドスピノシッシマローズ・通称『スコッツローズ』という品種群になります。強健性もバッチリ、北海道より緯度の高いスコットランドのバラというだけあって、耐寒性についても太鼓判です。逆に高温多湿に弱く、暑い地域では夏場に葉を落とすことがありますので、これぞ北国で育てやすいといえるバラでしょう。

株の高さは約 1.5m ほどになり、多く枝分かれし、良くのびる枝にディープイエローから淡いイエローをした一重で丸弁平咲きの花が、枝に沿って仲良く並んでつきます。花径は約 10 cm ほどで、ひらひらとしたグラデーションが美しく、また雄しべの中心のオレンジ色が印象的。原種的なワイルドさと現代的な優美さを兼ね揃えた雰囲気をもつバラです。

その枝の特徴を生かして、形を整えても自然樹形でも楽しませてくれます。細くてこまかい

針のようなトゲがびっしりとあり、取扱いには注意が必要です。お庭のスペースに余裕がある方はだんぜん自然樹形の仕立てがオススメです。当園でも自然樹形で栽培しており、横に大きく張り出した枝はパワフルで見ごたえがあります。

このバラが名づけられた由来は、調べてみましたが分かりませんでした…しかし『アイシャ』という名前自体は、アラビア語圏のムスリム女性によく使われる名前ようです。この吸い込まれそうな美しい花容に、魅惑的でエキゾチックな遠い異国のアラブ女性の姿を重ねたのかもしれない。

当園では、レストハウス周辺とウェルカムガーデンの一角にアイシャをはじめとするスコッツローズを植栽しています。早咲きで 5 月の末頃からぽつぽつ咲き始め、6 月上～中旬頃には見ごろを迎えて、ひとあし早くガーデンに華やかさを添えてくれます。年に一度しか咲かない一季咲きで、この時期にしか会うことができませんので、お見逃しなく！

平成 29 年度 いわみざわ公園バラ園作業ボランティア

『トムテ』のなかま 募集

◆◆◆ 『トムテ』とは ◆◆◆

そのお家のお手伝いをしたり守ってくれる、
スウェーデンの妖精の名前です。



岩見沢の市の花は「バラ」です。

市民の皆様にもっと親しんでいただけるバラ園に
なっていきたいという思いを込めて、作業ボランティアを募集しています。
バラについて少しずつ学びながら、バラ園と一緒に育んでみませんか？



※毎週金曜日と「ばらゼミ」開催日の午後から、定例活動日を設けています。

バラのことをこれから知りたい方でも気軽にご参加いただけます♪

詳しくはホームページで確認、または電話・メールなどでお問い合わせください。

TEL 0126-25-6111 FAX 0126-25-6177 (室内公園 色彩館)

E-Mail info@iwamizawa-park.com

HP <http://www.iwamizawa-park.com/volunteer/tomte.html>

5月の市民園芸講座のご案内



- 5月13日(土) 13:00~15:00 ミニ盆栽を仕立てよう
料金：2,000円 定員：20名
講師：君島 信博さん 草つ月
- 5月14日(日) 13:00~15:00 芝生管理のポイント
料金：無料 定員：40名
講師：辻栄 三郎さん 雪印種苗株式会社
- 5月21日(日) 13:00~15:00 知られざるオーキッドの世界
料金：無料 定員：40名
講師：川面 豊樹さん えるむ花園
- 5月27日(土) 10:00~12:00
ばらゼミ③土と病気、虫たちのこと～みんな生きている。
料金：無料 定員：40名
講師：工藤 敏博さん ローズグローワー